

Duo

デュオ



発行：美唄市男女共同参画推進協議会（愛称：「デュオ」の会）事務局（美唄市役所地域経営室内）
 〒072-8660 美唄市西3条南1丁目1番1号 TEL 0126-62-3137
 FAX 0126-62-1088
 e-mail kikaku@city.bibai.lg.jp

*「デュオ」とは、イタリア語で「二重唱」、「二重奏」を意味する言葉です。 会員募集中！（年会費1,000円）

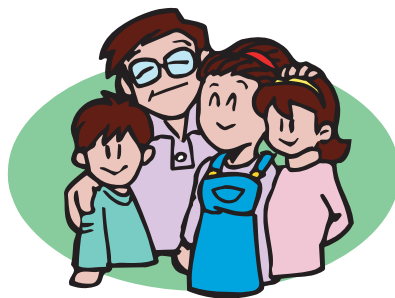
家族

市内の学校の校長先生より原稿を頂きました。
 ありがとうございました。

高校3年の12月末に母方の祖母と別れるまで、私は、両親と妹の5人家族の中で育てられた。

早朝から日がとっぷり暮れるまで、外で働く両親と庭の草むしりに加え、昼食・夕食の準備が日課の祖母の中で、子ども心に家の中での自分の役割を気遣った。

母親は、夫つまり私の父親を立てた。娘二人の前では、ますます立てた。父親はどんどん大きくなる娘二人の父親であり続け、威張ることはなかったが、威厳はあった。母親は当時としては勉強に口うるさい方で、父親は、食べ物を粗末にすることを一番嫌い、返事が遅いとしかりもした。



地域や家族の中で、大人や親たちがわずらわしくても苦しくても、折り合いをつけて人付き合いを乗り越える姿も見て育った。また、遊びや自然の中に、自分の心を探しながら責任の意味を身体ごと学んだ思い出も多い。



「最も純粹に世の中を知ろうとする子どもの時に、人間の基礎が形づくられる」の記述を目にした時、教育（家庭教育も）は、単独で存在するのではなく、生きる力や仕事をするための基本であることを改めて強く思う。



男女共同参画こんな言葉ご存じ？

ジェンダー・フリー

人々の行動や生き方をジェンダーによって枠にはめることなく、誰もが自分らしく多様な生き方ができる社会を作ろうという考え方。

性別役割分担主義

「男だから、女だから」「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定的にとらえる意識のこと。

すっかり山々の木々も深い緑に覆われ、暑い夏の季節を迎えました。



先月、就学前のお子さんがある若いお母さん達とお話する機会がありました。たくましい子育て奮闘中のママさんパワーに元気を頂きました。子どもたちは絵本を見たり、おもちゃ遊びと、一つところにじっとしていませんが、さすがにお母さんたち気配り、目配りしながらしっかり会話にも積極的に参加しています。

お母さんの中には自分のキャリアを生かして仕事に復帰したいという方、夫の育児休業などは大企業のことではムリ、ムリなど、また出産するにはまず、医者選び、病院選びから始めなくてはならないと言う、産婦人科の病院・医師も少ないことなどの不安。小児科と産婦人科は併設すべきなどなど・・・



今年4月16日大臣による男女共同参画研修会が札幌で開催され参加しました。猪口邦子内閣府担当大臣(少子化・男女共同参画)が来られ「社会的性差(ジェンダー)の正確な理解と男女共同参画の形成に向けて」のお話がありました。



その中の一部ですが男女の平等感について現状どのように感じているのかというと4人に3人が「男性のほうが優遇されている」というデータがありました。これは、男性、女性の両方から見たものと言うことです。また、女性は出産を理由に7割が退職。残りの3割の内の7割が育児休業を取っていると言う現状もお聞きしました。これからは環境、防災、地域おこしなどまだまだ女性があらゆる分野に参加していくことが求められていると思います。

北海道の短い夏、暑さに負けずに会員の皆様と一緒に男女共同参画推進に向け活動していきたいと思ひます。



身近な男女共同参画についての情報や「Duo」の感想などを事務局までお寄せください。お待ちしております。

*事務局: 〒072 - 8660 美唄市西3条南1丁目1番1号 美唄市役所地域経営室内(担当: 森川、桜井)
TEL 0126 - 62 - 3137 FAX 0126 - 62 - 1088 e-mail kikaku@city.bibai.lg.jp

*会報「Duo」は、美唄市の男女共同参画ホームページ(<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/danjo/>)の中で「市民団体の取り組みの紹介」として掲載されています。

男女共同参画社会の実現にむけ、審議会等への女性委員の登用推進が具体化する中で、委員として会議に参加する上でどんな心構えが必要なのでしょう。私なりに考えてみました。

人前で自分の意見を順序だてて述べる、そしてそれを相手に理解してもらうという事は、なかなか難しいでしょうし、発言するという行為自体がかなり度胸がいるものです。

いちがいには言えませんが、特に女性には苦手としている人が多いようです。

場数を踏むことで、多少の慣れはできてるかもしれませんが.....。

日本人は間違った、失敗することを大変恥と考える国民性を持ち、又、失敗を否定する教育があったような気がします。

なんの予備知識ももたないで出席するのは、資料に目を通して出席する会議では、大変な違いがあります。

積極的に参加しようと思う人は、理解するための努力を忘れないでしょう。

せっかく開いてくれた門戸ですので、気後れなんか考えないでどんどん参加しちゃいましょう。

そういう私も、わたしたちの自治検討委員会で「美唄市まちづくり基本条例」の素案づくりに参加しています。

条例という普段でしたら敬遠すべき内容ですが、大層な表現になりますが、清水の舞台から飛び降りたつもりで委員になりました。

回を重ねる毎に少しずつですが目の前のもやもやが晴れてきました。本当に「習うより慣れる」とはよく言ったものです。

お陰をもちまして一足お先に「まちづくり基本条例」を学習する事ができました。

女性の皆さん、機会が有りましたら、是非審議会等に参加しましょう。



「デュオの会」屋外活動

「デュオの会」の存在と活動の理解を深めてもらうことを目的として、当市の「スノーフェスタ」で会報を配布し、PR活動を行いました。



配偶者暴力相談窓口について

配偶者からの暴力で困っている方などの相談を受ける窓口を設けています。このような方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護をする施設の入所、配偶者の接近禁止などの申し立て制度ができています。この法律についてのお問い合わせや相談がありましたら、市役所の女性相談窓口または女性相談援助センターまでお気軽にご連絡ください。

* 女性相談窓口 美唄市役所地域経営室 62-3137 (直通) (受付・・・月～金、8時45分～17時15分)

* 道立女性相談援助センター(札幌) 011-666-9955 (受付・・・月～金、9時～17時)

みんなで楽しく『ぴんとしゃん』

「“きよしのズンドコ節”に合わせて体操するんですけど楽しいですよ〜」 峰延の砂長谷さんはにこやかに話してくださいました。

今回の訪問インタビューは、『貯筋体操・みんなで楽しくぴんとしゃん教室』のリーダー 砂長谷洋子さんをお訪ねしました。

「昨年10月から12月までの3ヵ月間、市の養成で『貯筋体操リーダー育成講座』に参加、指導者のお免状をいただいたの。その後準備期間を経て、今年の2月7日に1回目を、その後は毎週火曜日1回も休まずに続いているの。

10時から市の保健師さんも参加してビデオを見ながら20分「貯筋体操」、その後は休憩を挟みながら『松の木小唄』『これから音頭』などおなじみの曲に合わせて、体操やダンスを行います。之はウチが独自でやってること。体操だけじゃいやになるけど、よく知ってる曲を口ずさみながら歩いたり踊ったり。お花の話や旅行の話などにも花が咲いたりしてとにかく賑やか。毎回25人位が参加、参加費1回100円で会場費やお茶代に充てます。



2月から初めて、顔の表情がとっても明るくイキイキしてきた、背筋が伸びて、歩く歩幅が大きくなったなど、見た目にも大きく変わったと思います。70代の女性は、最初15~16cmしかなかった歩幅が今では30cm。スゴイ変化でしょ。びっくりしちゃうヨ。

今参加しているのは、50代から80代までの女性約30人。男性？当初は3人位いたんだけど女性パワーが強すぎたのかしら、今はゼロ。

「男の人にも参加して欲しいんだけどネ・・・」

終始にこやかにお話下さった砂長谷さん。演歌体操の振り付けはご自分で考えられるそう。現在レパートリー(?)は6曲位。歌詞を貼りだし大きな声で歌いながらの体操も行うとか。スローではあるけれど運動量は少しずつアップさせているという。

お話しさせていただいて感じたのは、ご自身が楽しんでいらっしゃること。『「週2回にして」という声もあるけど、そうするとお互い無理がかかるから長続きしないし楽しくないでしょ。』 スタッフを含めて女性ばかりというのはちょっと残念。男性の方も、体操やダンスと一緒に楽しみながら共に健康に過ごしませんか！！

《取材：野》

編集後記

お正月番組に数多く登場の超人気占い師さん。「男は男らしく！妻や子どもを食べさせるために働きなさい。」これでは映画のタイトルではないけれど、男はつらいのでは？東京大学大学院助教授である瀬地山角先生のお話を思い出した。一頭立て馬車体制は二頭立て馬車より

リスクが大きい。女性は「経済的な自立」をし、男性は「生活の自立」を果たして、夫婦で馬車を引っ張っていく制度を前提とすることが男女共同参画社会につながると。二頭立て馬車社会への移行で、男も女もお互い楽になりたいものだ。

(T)

